



ネットワークカメラ

ME20F-SHN

はじめにお読みください

© CANON INC. 2017

Printed in Japan

本製品の使用説明書や各種ソフトウェアなどは、下記のホームページから最新のものをダウンロードすることができます。使用説明書は、カメラの設定や操作方法について説明しています。ご使用前によくお読みになり、カメラを正しく利用してください。



ダウンロードできるファイル一覧

使用説明書

- ・セットアップガイド (★)
- ・操作ガイド ネットワーク編
- ・操作ガイド ボタン編
- ・モバイルカメラビューワー 操作ガイド
- ・主な仕様
- ・カメラマネジメントツール 使用説明書
- ・録画映像ユーティリティ 使用説明書

ソフトウェア

- ・付属ソフトウェアインストーラー
カメラマネジメントツール
録画映像ユーティリティ

ファームウェア

(アップデート時にのみ提供)

★使用説明書の種類、本製品の初期設定や設定の流れなどを説明しています。本書の次は「セットアップガイド」をお読みください。

ラジオやテレビなどへの電波障害

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

シールドネットワークケーブル (STP) を使用して接続してください。

VCCI-A

付属品

ボディキャップ (本体装着) 電源用コネクタ (ストレート型 ネジ固定タイプ)
電源用コネクタ (L 型 ネジ固定タイプ)

主な仕様

撮像素子	35mm フルサイズ単板 CMOS センサー (有効画素数：約 226 万画素)
電源	PoE 機能：LAN コネクタによる PoE+ 給電対応 (IEEE802.3at Type2 規格準拠) - PoE 使用不可 - PoE+ 使用時、一部レンズにおいては、電力不足により動作しない場合がある 外部電源：DC 11 ~ 17 V に対応
消費電力	PoE+ 入力：最大約 18.0 W* (本体のみ) DC 入力：最大約 16.0 W (本体のみ) * 給電装置に対しては、クラス 4 (30.0 W を要求)
動作温度	0 °C ~ + 40 °C
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約 102 × 116 × 113mm (突起部含まず)
本体質量	1.3 kg (本体のみ)

本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

安全にお使いいただくために

警告 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しないでください。内部にほこりや水などが入り、火災、感電、やけど、故障の原因になります。
- ・使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズを外して、必ずボディキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。
- ・直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど 60°C 以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かないでください。発熱や破損により、火災、やけど、けがの原因になります。
- ・不安定な場所に置かないでください。落下、転倒により、けがの原因になります。
- ・乳幼児の手の届くところに置かないでください。感電やけがの原因になります。
- ・電源コネクタの取り扱いは次のことを守ってください。火災や感電の原因になります。
 - ・ほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
 - ・根元まで確実に差し込み、ネジで固定する。
 - ・抜くときは、電源コネクタを持って抜く。
- ・発煙、異音、発熱、異臭などの異常を発見したときは、直ちに使用を中止し、最寄りの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- ・内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせないでください。火災、感電、けがの原因になります。
- ・雷が鳴っているときには本機やケーブルに触れないでください。感電の原因になります。
- ・ぬれた手で、電源コネクタを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- ・本機をぬらさないでください。降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつけてください。火災、感電、けがの原因になります。
- ・分解や改造をしないでください。発熱、火災、感電、けがの原因になります。
- ・カメラに強い衝撃や振動を与えないでください。火災、やけど、けがの原因になります。
- ・ケーブルの取り扱いは次のことを守ってください。火災や感電の原因になります。
 - ・傷つけない
 - ・加工しない
 - ・無理に曲げない
 - ・引っ張らない
 - ・熱器具に近付けない
 - ・加熱しない
 - ・重い物を載せない
- ・カメラの近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- ・お手入れの際にアルコールやシンナー、ベンジンなど引火性溶剤を使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- ・病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しないでください。電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因になります。
- ・布や布団で覆ったり包んだりしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。
- ・海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/AC コンバーターなどの電源につながらないでください。表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災、感電、けがの原因になります。
- ・撮影しているときは、周囲の状況に注意してください。特に運転中には使用しないでください。けがや交通事故の原因になります。
- ・カメラを長期間使用しないときは、カメラに LAN ケーブルや外部電源を繋いだままにしないでください。火災の原因になります。

注意 傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

- ・設置工事は必ず専門の工事業者に依頼し、お客様ご自身では絶対に設置工事をしないでください。落下・感電など、思わぬ事故の原因になります。
- ・カメラの設置および点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。特に次の点に注意してください。間違った取り扱いは事故の原因になります。
 - ・電源およびネットワークなどの配線工事は、電気設備技術基準などの関連法規に従い、安全・確実に行う。
 - ・設置時は、アクセサリとカメラを含む総重量に耐える十分な強度があることを確かめ、必要に応じて十分な補強を行う。
 - ・取り付け用ネジは、設置する場所や材質に適したネジを用意する。
 - ・落下によるけがや機器の破損を防止するため、取付金具やネジのさびつき、ネジやマウントレバーの緩みがないか定期的に点検を行う。
 - ・設置時に指を挟みこまないように注意する。
 - ・静電気除去対策をしてから、作業を行う。
- ・使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は使用しないでください。電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因になることがあります。
- ・コード類は、つまずかないように配置してください。足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れがあります。
- ・飛行機内で使用するときは、乗務員の指示に従ってください。機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

注意 物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が悪化したり、ノイズが入ったりすることがあります。
- 電源を切った後、5 秒以内に再度電源を入れしないでください。
- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときや持ち運ぶときは、本体に直射日光が入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズを外して、ボディキャップを取り付けてください。
- カメラのレンズ接点に手を触れないでください。接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとカメラが正しく動作しなくなることがあります。
- レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となり、カメラやレンズが正確に動作しないことがあります。
- 本機が結露した場合、そのままの状態ですと故障の原因になりますので注意してください。次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。
 - 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
 - 湿度の高い部屋の中
 - 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき万一、結露した場合は次のように対処してください。
 - 周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約 2 時間程度放置してください。
 - 温度差のある場所へ移動するときはレンズを取り外し、本機をビニール袋に空気が入らないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。
- 内蔵の冷却ファンは、Other Functions メニュー「Reset Hour Meter」の Total 時間を確認し、約 30,000 時間を目安に交換してください。交換する際はキヤノンお客様相談センターに依頼してください。



重要

- 落雷による故障への対策として、避雷器（サージ防護デバイス）を設置することを推奨します。詳しくは、弊社ホームページをご確認ください。
- 以下の仕様の外部電源アダプター（市販）および電源ケーブル（市販）をご用意ください。また、外部電源アダプターおよび電源ケーブルは、UL、CSA などお使いの国の安全規格に適合したものをご使用ください。

外部電源アダプター仕様
出力電圧：DC 11 ～ 17 V
出力電流：3 A 以上

電源ケーブル仕様
定格電圧：DC 30 V 以上
許容電流：3 A 以上

本製品のご使用に関する注意事項（免責事項）

- ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- お客様は、本製品の使用に関して、プライバシー保護および肖像権に関する全ての適用法令を順守する責任があります。場合によって、カメラまたは音響機器による監視または記録は、法令により制限または禁止されていることがあり、その詳細は国・地域によって異なります。お客様は、本製品を設置する前に、本製品が全ての適用法令に基づく法的要求を順守した方法によって設置されたことを確実にするために、お客様の国・地域の法令（当該国・地域の州または地方自治体の法令を含む）を確認する必要があります。法令により要求される場合、マイクを使用しないでください。居住者または訪問者がプライバシー確保への期待を合理的に持つ可能性がある場所（寝室、更衣室、トイレなど）に、本製品を設置しないでください。
本製品は、映像および音声を監視される全ての人物にとって明らかに視認できるように設置される必要があります。加えて、本製品により監視される全ての人物にとって明らかに視認できるように本製品に近接して目立つように表示された掲示物によって、当該人物に対して本製品が当該人物の映像および会話を記録していることを伝える必要があります。
本製品の設置、または、カメラまたは音響機器による監視または記録に関してお客様と第三者との間で紛争を生じた場合において、キヤノンはいかなる責任も負いません。
- PC やネットワークの環境によっては映像の遅延や欠落が発生するため高精度の映像伝送は保証できません。
- お客様が撮影した映像や画像、録音した音声などは、著作権法上、権利者に無断で使用・公開することはできませんのでご注意ください。
- ネットワークカメラで動きの速い被写体を撮影したときや、撮影中に画角が変化したときに被写体が斜めに曲がって見えることがあります。これは CMOS 撮像素子を使用した場合に発生する現象であり、ネットワークカメラの異常ではありません。
- 本製品は、安全保障輸出規制貨物に該当します。そのため、輸出または海外に持ち出す場合は、関係当局の許可が必要となる場合があります。
- カメラを廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。その際、メモリーカードの抜き忘れに十分ご注意ください。

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、お客様相談センターをご利用ください。

■ キヤノンお客様相談センター

ネットワークカメラ / モニタリング機器

050-555-90074

【受付時間】 < 平日 > 9:00 ～ 17:00（土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

上記番号をご利用いただけないかたは 043-211-9622 をご利用ください。IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）